

12/18(火)第 56 回を開催
しました。

連続共育セミナー

ファシリテーター

テーマ:会議上手になろう! ~会議進行役がポイントです~
講師:青木将幸氏(青木将幸ファシリテーター事務所代表)
会場:大和市渋谷学習センター 310 講習室

ワークショップ形式で講座を進めたいと講師からの希望があり、参加者は 18 名に限定。講師の HP、広報やまと、「センター」のチラシなどで集った人々。先着順で早めに締切。

会議は、バランスをみながら進める。

「質問・発言はいつでも歓迎」みなさまのためのセミナーですから」と一言から始まり、時間順守で終る。

「会議で後ろ向きな意見にひっぱられる」との団体がかかえる問題点が出され、講師は次のように応えた。

それには、その意見を出しきらせる。あなたの意見は『理解しましたと返し』、その発言に『感謝を伝える』。そして、要点を『板書』する。前向きな意見が出やすいように併記できるようにし、発言のバランスを図る。そして『少数派の意見をくみ取る微修正』をして活かす。

その他、いろんな事例を引合いに、キーワード『』を明らかに示しながら説明された。

ワークショップは 4 グループに分かれ、初対面同士でしたが、席替えしないこともあって会話はスムーズ、学ぼうとする意欲が会場内に満ちていた。

受講者からは収穫の多い講座だったと好評だった。講師著書*は用意した分はほとんど売れ、サイン会。記念撮影へと繋がっていた。

*著書:市民の会議術ミーティング・ファシリテーション入門
発行所:ハンズオン! 埼玉 出版部

[拠点やまと]スタッフ 7 名も

グループワークに参加しました。

「普段の会議」と「こんな会議になったらいいな」をグループ内で紙に書き出す。

[拠点やまと]は毎月第 4 火曜日に運営会議を行っています。その現状をみて、次のような改善項目が書き出されました。

- 1、参加者全員がしっかり議論できたらいい。
- 2、しっかり議論して予定の時間に終わらせたい。
- 3、継続も含め、結論を出したい。
- 4、自分の希望をはっきり言える会議の雰囲気になったらいい。

次に、全員が合意できるものに花丸をつける、ということで 2、に花丸をつけました。

それを会議のレジメの頭に記載するなど効果的に活用していくことにした。

会議の準備資料、出席者の議題への取組み準備や共有など、実施する具体的なことが課題となります。



高度な質問が多く講座は充実して良かった。終って、みなさまの拍手をいただき、話が伝わったと感じ、短い時間でしたが、感謝です。



講師
青木将幸氏

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

次の第 57 回連続共育セミナーは、

テーマ:3 月。年度末を控え、活動報告のとりまとめ作業を行います。NPO 法人を含む市民活動団体として質の高い報告書作りを学ぼうと思います。(講師を探しています)

日 程:3 月中旬を予定。

・次号の「あの手この手」2 月号に日程などをお知らせします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<参加レポート>

県内 NPO 支援組織が交流を深める

NPO 支援組織のための研修会 in 湯河原 2012

主催:ソーシャルコーディネートかながわ(以下、そこかわ)

11/25(日)・26(月)に、かながわ県民活動サポートセンターの事業として、行われた今回の研修には、藤沢、平塚、綾瀬、小田原など県内の各 NPO 支援組織のスタッフや県職員などおよそ 20 名が集まりました。

初日の講義では、認定 NPO 法人日本 NPO センター特別研究員の椎野修平さんを招き、かながわ県民活動サポートセンターの設立からその後の運営までの秘話を事例に、NPO 支援組織のあり方について考察するきっかけとなりました。

また、翌日のディスカッションでは各施設において NPO 支援活動を実施するにあたって直面するさまざまな課題、特にリスクマネジメントや活動の活性化などをテーマに各施設での事例を交えながら意見交換を行いました。

合宿で行われた今回の研修では、こういった正規プログラムのみならず深夜遅くまでお互いの経験や考え方を話し合い、交流を深め今後の連携を考える時間となりました。

(来年度より勤務スタッフになります)記・姜そんう

